

一般財団法人新潟県建設技術センター  
令和2年度 研究助成事業

新潟県『峠サミット2020in三条』及び  
八十里越トレッキングルート安全整備に関する事業 報告書

令和3年3月30日  
特定非営利活動法人 しただの里

### はじめに

当団体では、今まで八十里越に関する周知活動を行ってきた。

今回は他の峠の地域住民らと交流を図ることで日本全体の峠の情報交換や地域振興の活性化を図ろうとするものである。また、再度八十里越トレッキングルートの安全整備に取り掛かる事で峠の安全性を高め、観光客を誘致し峠の楽しさを知ってもらうことで地域の活性化を図るだけでなく、日本全体の峠を盛り上げる活動を実施。

### 背景や必要性

国道289号線八十里越全通を控え、地元には豊かな自然に囲まれた新しいルートの利便性や「八十里越」は司馬遼太郎の小説「峠」の舞台となったことでも知られる歴史の道であることを知ってもらい、地元を盛り上げていきたい。

また、その峠である八十里越は全通に向け着実に工事は進められているものの、下田地区は日本でも有数の豪雪地帯のため近年多くの一般観光客が軽装で八十里に足を踏み入れることが地元では山岳事故を心配する声が上がっており、定期的なルートの安全整備が必要となっている。

### 事業の内容とその特徴

当団体は、八十里越を含む下田地区のグリーンツーリズムの活性化を目的に平成24年に設立。主な活動としては、親子を対象にふるさとの魅力を体感学習する子ども観光大使養成事業やただ自然体験観光ガイド養成事業、山里・吉ヶ平にブナ苗等の植樹をする里山整備事業など。

当事業では、昨年行われた八十里越明治新道・中道・天保古道に関する調査研究整備事業で新たに整備されたトレッキングコースのさらなる安全性を高めるために下草刈り倒木や自然石の撤去・処理を行うとともに新たな向指示標識・歴史解説標識・警告標識

等を設置し、一般観光客が安全に楽しめるトレッキングコースを整備する。

また、峠サミットを開催することで各地域の峠の情報交換の機会をつくり、それぞれの歴史文化や地域財を学ぶことができる。更に、地域住民と地域外住民との交流の機会となり、互いに観光客の誘致促進となり地域振興へとつながる。

#### ◇令和2年度八十里越ルート整備・調査実績・ルート整備・調査

(除草・倒木撤去作業・看板設置)

5月24日	椿尾根	8人	6月7日	番屋乗越	6人
6月21日	椿尾根	5人	7月5日	火薬跡	5人
9月12日	空堀～鞍掛	11人	10月4日	椿尾根	7人
11月15日	椿尾根・番屋山	10人			

#### ◇調査結果の概要

小雪で早期からの現地調査並び整備ができるかと期待しておりましたが、県道の整備が行われ例年通りの幕開けとなりました。

今年度は三条市の調査とも連携しまして以前の調査で発見しました古道の整備に重点を置き作業をいたしました。

また昨年秋より天保古道（未整備区間）番屋山里眺めから番屋乗越までの実況見分を行いました。これより先は三条市、中越森林管理署と連携をとりながら明治新道とのつながり整備して周回コースができるように働きかけてゆきたいと考えております

◀ 除草・整備・調査 ▶









◇八十里越フォーラム 2021 「警女の越えた峠」

日時：令和3年3月7日（日）

午後1時30分～4時00分（開場・受付：12時30分～）

会場：三条市体育文化会館 マルチホール

・第一部（午後1時30分～2時20分）

講演 「山形黒沢峠」

黒沢峠敷石道保存会 事務局長

岡村 俊春

講演 「上越七つの峠」

瞽女を奏でる吟遊詩人

国見 修二

・第二部（午後 2 時 30 分～3 時 20 分）

司会 國井 雅比古

パネリスト 「十三峠」

越後米沢街道・十三峠交流会 会長

片倉 尚

「黒沢峠」

岡村 俊春

「上越七つの峠」

国見 修二

特定非営利活動法人 しただの里

大竹 晴義

・第三部（午後 3 時 30 分～4 時 00 分）

司会 國井 雅比古

パネリスト 映画「瞽女 GOZE」脚本・監督

瀧澤 正治

映画「瞽女 GOZE」プロデューサー

Tak. W. 阿部

入場者数：149名 スタッフ 20名 計 169名



看板



受付



## 第一部



## 第二部



## 第三部

### 成果

フォーラムも5回目となり、八十里越の認知度により令和2年の吉ヶ平自然体感の郷（八十里越の入り口）は過去最高の来場者数でした。

3/7のフォーラムはコロナ感染症の影響もあり、高齢者の入場者は少なくなりましたが、それでも多くの方々から興味を持っていただきました。山形・上越の峠への関心も高く、多くの問い合わせをいただくほどでした。

### まとめ

今年度は三条市主催の『名誉市民小林ハル生誕120周年記念展』のイベントの同じ日に行うことでより多くの方々にも八十里の重要性を理解して頂けました。

フォーラムも瞽女の歩いた峠という新たな視点で見た峠道で多くの地域の人々に関心を持っていただけるようになりました。